

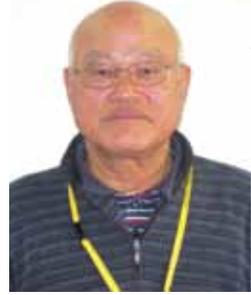
宮城いきいき便り

いきいきSUNクラブ、宮城いきいき学園の活動を
紹介するページです

得た知識を地域で発揮

宮城いきいき学園・3月に卒業式

◆仙南校 宇野洋さん(68)



―学園での一番の思い出は？

学園に入ってから学年委員会に所属したが、最初に顔合わせをして2年間みんなで楽しく学園生活を送れるよう、委員会メンバーと懇親会を企画し、実行したこと。懇親会をきっかけに、ほとんど顔の知らない同期生の皆さんといろいろな会話をし、

一体感ができた。

文化祭も思い出深い。1年生の時は震災の影響で文化祭の準備開始が遅れてしまったが、練習日にはみんなが集まって出し物の練習を重ね、本番では満足いくできばえとなった。

自分たちの意見がいろいろある中で、一つのものをつくり上げていくという一体感を養った。その後、さまざまな行事を企画し開催したが、参加率も80%とよく、楽しい学園生活だった。

◆卒業後に生かしたいことは？

なかった。今では同期生全員が友達だ。友達ができただけで、学園生活の意義はあったと実感する。学園には本当に感謝している。

自ら考え、自ら行動することも学園生活で学んだ。自分は65歳で定年退職したが、退職後は積極的に地区に顔を出すようにしている。学園には退職から1年間のブランクの後に入った。学園そのものは知らなかったが、先輩に勧められて入学した。ほかの人にも勧めたいと思っている。

―学園で学んだ内容で、

◆登米・栗原校 高橋正勝さん(69)



―学園での一番の思い出は？

2年間の学園生活の中で、修学旅行が一番印象に残っている。震災の年、学園が6月から再開できるかどうか分からない時に、仲間と修学旅行の計画作りを始めた。同じ学園生同士でも顔も名前も知らなかったが、修学旅行を通じ、お互いにか

り合えると思っていた。修学旅行で山形に行き、宴会では皆さんが想像以上の出し物を披露し、盛り上がった。バスの中でも楽しく過ごした。旅先では震災で被災した人のために、みんな何かを作ろうということになった。酒田のつるしびなを作り、秋の文化祭でそれを展示した。修学旅行後は学園生からの要望が出た。花見や旅行などを楽しんだ。

生全員でボランティアに参加した。全国の人と出会えたが、残念だったのはいろいろと聞かれた時に、よく説明できなかつたこと。自分の担当内容だけでなく、基本的なことを知った上でやるべきだった。文化祭は誰も文句を言わず、学園生一丸となり、よくやれたと思う。

―学園で学んだ内容で、卒業後に生かしたいことは？



ねんりんピック宮城・仙台大会の卓球会場でボランティアとして活動した登米・栗原校の2年生

しく仲間づくりができたのが自分の宝。これからも仲間と楽しくやっていけたらいい。学園には感謝したい。震災で学園はもう駄目かと思つたこともあつたが、登校日を心待ちにしていた。今後は小さなことでも、自分から進んでやってみよう。いろいろな面で関わりたいと思つている。同期生の横のつながりだけでなく、同窓生との縦のつながりができたらいい。自分でもできるものからボランティア活動をしていきたい。自分でもできるものからボランティア活動をしていきたい。自分でもできるものからボランティア活動をしていきたい。自分でもできるものからボランティア活動をしていきたい。

文化祭を大成功に終え、笑顔で記念写真に収まる仙南校の2年生



同期入学生した40人のうち、卒業できるのは36人。2人の方が在学中にお亡くなりになり、2人の方が中退された。卒業後は36人の方と同期会として、趣味に、ボラン

ている。このことは今後の活動に生きてくる。このことは今後の活動に生きてくる。このことは今後の活動に生きてくる。このことは今後の活動に生きてくる。